

## 令和3年度 事業報告

本年度は、新型コロナウイルス感染症が昨年に引き続き世界中で猛威を振るい、最近ではオミクロン株により、日本の経済活動に大きな影響をおよぼしたところです。

このような中、国においては、コロナ禍にあっても成長力を確保していくために、高齢者が健康で年齢にかかわりなく活躍し続ける「生涯現役社会」の実現を強く求めています。

当町においては、65才以上の割合が令和4年3月末31.5%、昨年より0.1%増加しています。また、当センター会員の平均年齢は74.9才、75才以上の占める割合は、47.7%であります。シルバー人材センターは、地域社会の支え手として、就業機会を提供することにより高齢者の「居場所」と「出番」をつくり、生涯現役社会の実現を果たす役割を担っており、大変重要となっています。

こうした中、当センターでは、中期計画に基づき新規会員の加入促進および退会の防止に努めた結果、令和4年3月末の会員数は239人、昨年度より10人の増となりました。事業状況については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、会員のご協力により、事業契約額80,902千円、前年比100.0%、派遣契約額は、24,779千円、前年比123.4%、前年度と比較しますと、契約額全体で、105,681千円、前年比104.4%、4,729千円の増になりました。

当センターは、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、ともに助け合い、地域社会の支えとして、町、関係者のご指導ご支援を賜わりまして、会員と役職員が一丸となって、地域社会に貢献するとともに事業推進に取り組んでまいりました。

以下、令和3年度の事業実績状況をご報告申し上げます。

